

いくたびもまいる心ははつせでら
山も誓いもふかき谷川



大和國 長谷寺

〒633-0112 奈良県桜井市初瀬731-1

TEL.0744(47)7001

<http://www.hasedera.or.jp>

長谷寺

検索

各種祈祷、先祖供養等承っております。詳しくは上記電話番号までご連絡ください。

西国三十三所観音霊場第八番

真言宗豊山派総本山

大和國 長谷寺

境内地図付き

長谷寺縁起と伽藍



国宝本堂

徳川三代将軍家光公のご寄進によって慶安三年(1650年)に建立。入母屋造の正堂と礼堂からなる双堂(ならびどう)形式で、前面に懸造りの舞台が付く大建造物。額は「大悲閣」と書かれ慈悲深い本尊様を祀る本堂を表す。平成16年12月、国宝に指定。

長谷寺は、山号を豊山と号し、朱鳥元年(六八六年、あかみどり)道明上人が天武天皇のために「銅板法華説相図」どうめい とうばん ほうわ せつそうずを初瀬山西の岡に安置したことにはじまり、のち神亀四年(七二七年)、徳道上人が聖武天皇の勅願によつてご本尊十一面観世音菩薩を東の岡にお祀りになりました。徳道上人は観音信仰にあつく、西国三十三所観音霊場を開かれた大徳として知られ、長谷寺はその根本道場とも呼ばれるゆえんであり、長谷詣、長谷信仰は全国に広がりました。下つて天正十六年(一五八八年)、専誉僧正がご入山されてより、長谷寺は関係寺院三千ヶ寺を有する真言宗豊山派の総本山として、また西国三十三所第八番札所として、檀信徒は約二百万人、四季を通じて「花の御寺」として多くの人々の信仰をあつめています。

◎年中行事 (ねんじゅうぎょうじ)

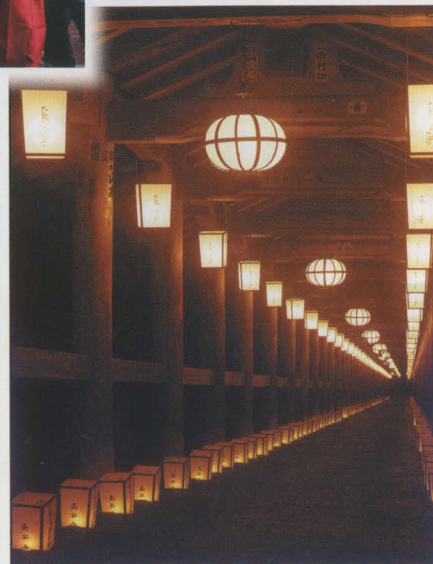
だだおし

修二会が結願する二月十四日に行われる法要で、無病息災、厄除け開運を祈願します。
三匹の大鬼が燃えさかる松明を手に本堂の内外を駆け巡るさまは圧巻です。



観音万燈会

大晦日の夜、登廊の両側に灯がともされる万燈会。やさしい灯の帯が本堂へと誘います。その姿は新年を迎えるにふさわしく荘厳です。



	本尊開帳法要 (ほんぞんかいちようほうよう)	1月1日
	仁王会 (にんのうえ)	1月1日～7日
1月	修正会 (しゆしやうえ)	1月1日～7日
	仏名会 (ぶつみやうえ)	1月8日～10日
	星まつり (ほしまつり)	1月28日～2月3日
	節分会 (せつぶんえ) 大黒天祭 (だいこくてんさい)	2月3日
2月	修二会 (しゆにえ)	2月8日～14日
	だだおし法要 (だだおしほうよう)	2月14日
	三社権現綱懸祭 (さんしゃこんげんつなかけさい)	2月上旬(旧1月11日)
	常楽会 (じやうらくえ)	3月15日
3月	彼岸会 (ひがんえ)	春彼岸
	弘法大師正御影供 (こうぼうだいししやうみえく)	3月21日
	釈尊降誕会 (しゃくそんこうたんえ)	4月8日
4月	ぼたんまつり	4月中旬～5月上旬
	春季特別寺宝展 (しゆんきとくべつじほうてん)	4月中旬～5月上旬
5月	専誉僧正恩徳会 (せんよそうじやうおんどくえ)	5月5日
6月	弘法大師誕生会 (こうぼうだいしたんじやうえ)	6月15日
	興教大師誕生会 (こうきやうだいしたんじやうえ)	6月17日
7月	愛宕社祭礼 (あたごしゃさいれい)	7月24日
8月	盂蘭盆会 (うらぼんえ)	8月13日～15日
9月	彼岸会 (ひがんえ)	秋彼岸
	もみじまつり	10月中旬～12月上旬
10月	秋季特別寺宝展 (しゆうきとくべつじほうてん)	10月中旬～12月上旬
	与喜天満宮祭礼 (よきてんまんぐうさいれい)	10月第3日曜日
	成道会 (じやうどうえ)	12月8日
12月	陀羅尼会 (だらにえ)	12月12日
	本尊閉帳法要 (ほんぞんへいちようほうよう)	12月31日
	観音万燈会 (かんのんまんどうえ)	12月31日～1月1日

*一般に公開されていない行事もあります。*行事の日程などは変更になる場合もあります。



ご本尊 十一面観世音菩薩

近江国高島から来た楠の霊木を用いて
三日間で造り上げたといわれ、全国に
広がる長谷観音の根本像です。御身の
丈三丈三尺(十メートル余)、右手に錫杖
を持ち、平らな石(大磐石)の上に立つ独特
なお姿をしています。これは観音様の
特別なお徳を表し、人々の願いに対する
慈悲の深さを示しています。現在の御像
は天文七年(一五三八年)東大寺仏生院
実清良学の作と伝えられ、両脇には
難陀龍王と雨宝童子が仕えています。

〈主要寺宝〉◎は国宝 ◎は重要文化財
◎本堂／入母屋造／江戸時代 ◎銅板法華説相図／白鳳時代
◎十一面観音菩薩立像／木造漆箔／室町時代
◎難陀龍王立像／木造彩色／鎌倉時代
◎地藏菩薩立像／木造彩色／平安時代

◎銅造十一面観音菩薩立像／銅造鍍金／鎌倉時代
◎宋版一切経／紙本摺写／中国南宋時代



長谷寺 境内地図

参拝時間

8:30~17:00 (4月~9月)

9:00~17:00 (10月~11月、3月)

9:00~16:30 (12月~2月)

※ぼたんまつり期間等時間延長あり



① 総 受 付

総受付は参拝者の休憩所として使われ、山内の火事除けのため、「秋葉権現」をお祀りする。総受付の脇には、通称石観音様が祀られている。



② 仁王門



長谷寺の総門で、三間一戸入母屋造本瓦葺の
楼門である。両脇には仁王像、楼上に釈迦三尊
十六羅漢像を安置する。現在の建物は明治二
十二年(1889)の再建。

「長谷寺」額字は、後陽成天皇の御宸筆。



③ 宗 宝 藏

しゅうほうぞう

長谷寺六坊の一つ、清浄院跡地に建つ。
春と秋に開扉して長谷寺に伝わる国宝・
重要文化財等の宝物公開を行っている。



段、上中
明治二十
籠を吊る]

山 料
主以上500円／小学生250円
(30名以上) 大人450円／
中学生350円／小学生200円
場(70台)
普通車500円／バス2000円



人知らず)
てるつきは みちかけしけり ひとのつねなき
丹照月者盈晃為為人之常無
映 虚子)
一念 三千寺
貫之)
知らずふるさは
花ぞ昔の 香ににほひける
林 一茶)
の部也 梅の花
半坂上郎女)
はいろづきぬしぐれのあめは ふりにけらしも
色附奴鐘樓乃雨者零尔家良思母
尾 芭蕉)
もり人床し 堂のすみ

4 登 廊 のぼりろう

平安時代の長暦三年(1039)
に春日大社の社司中臣信清
が子の病氣平癒の御礼に
造ったもので、百八間、三九九
三廊に分かれている。下・中廊は
(1889)再建で、風雅な長谷型灯
る。



5 本 堂

(御本尊十一面観音菩薩)



小初瀬山中腹の断崖絶壁に懸造り
(舞台造)された南面の大殿堂である。
正面(内陣)は桁行(間口)の柱間九
間、梁間(奥行)同五間、入母屋造本
瓦葺で、また礼堂(外陣)は正堂より
やや低く、桁行九間、梁間四間、正面
入母屋造本瓦葺。



内舞台



6 大黒堂

(結縁財宝の大黒天)

大和七福神八宝霊場の一所。
尊像は弘法大師の御作と伝わる。
商売を繁盛させ、財宝を人々に授け、台所を
守護し食物を満たすご利益がある。
大黒天の縁日(甲子)に祈願法要を行って
いる。



7 開 山 堂

かいさんどう

長谷寺開山、徳道上人を祀る。併せて
西国三十三所各霊場の御本尊様をお祀り
している。毎月二日、徳道上人回向の法要を
行っている。



8 弘法大師御影堂

こうぼうだいしのみえどう

宗祖 弘法大師 1150 年御遠忌を記念して、昭
和五十九年(1984)総檜で建立された。大師
の両側には、細密な版画『長谷寺版両界曼荼
羅』が祀られている。毎月二十一日、弘法大師
御影供の法要を行っている。



9 本長谷寺

もとはせでら

天武天皇の勅願により、
道明上人がここに精舎
を造営したこと、本
長谷寺と呼ばれている。
朱鳥元年(686)、道明
上人は天武天皇の御病

氣平癒のため『銅板法華説相図(千仏多宝仏
塔)』を鑄造し、本尊としてお祀りされた。



10 五 重 塔

昭和二十九年、戦後日本
に初めて建てられた五
重塔で、「昭和の名塔」と
呼ばれている。純和様式
の整った形の塔で、塔身
の丹色と相輪の金色、軽快な檜皮葺屋根の褐色は、背景とよく調和し、光彩を放っている。



11 納 骨 堂

地藏菩薩を本尊に有縁の
御霊を祀り永代の御供養
を行うお堂。お預かりし
御遺骨、建立なされた
位牌を安置し、毎月月末
御回向の法要を行っている。



12 陀 羅 尼 堂

だらにどう

長谷寺の塔頭寺院。正堂(興教大師堂)、礼堂
(陀羅尼堂)を併せ菩提院と称する。
毎月五日には専誉僧正回向、十二日には興教
大師回向の法要を行っている。

13 本 坊



事相・教相の根本道場である
講堂や書院などがある。寛文七年
(1667)徳川将軍の寄進で建立
されたが、明治四十四年(1911)
上。現在の堂宇は大正十三年
(1924)に再建された。総檜造りの
大殿堂で、平成二十六年十二
十日重要文化財に登録された。





本尊十一面観世音菩薩立像(国指定重要文化財)

【日本最大級12メートル13センチ(光背まで)】

ご本尊観音様の御足に^{おみあし}触れて、「ご縁」を結べます。

総本山 長谷寺 本尊大観音尊像

特別拝観

〈特別拝観期間〉

2019年3月1日(金)～6月30日(日)

3月～/9時30分～16時

4月～/9時～16時

※行事等により時間変更あり

【場 所】本堂(観音堂)

【特別拝観料】1,000円(入山料別途)

【入 山 料】中学生以上/500円 小学生/250円

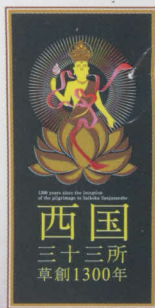
西国三十三所第八番札所
真言宗豊山派

総本山 長谷寺

〒633-0112 奈良県桜井市初瀬731-1

Tel. 0744-47-7001

<http://www.hasedera.or.jp/>



ぼたんまつり

4月20日(土) ↓ 5月12日(日)

長谷寺春季特別寺宝展

3月1日(金)～6月30日(日)

場 所 境内 宗宝蔵

入館時間 9時～16時(但し、入館は15時30分まで)

入館料/無料(但し、入山料は別途)

鉢植えぼたんプレゼント

4月20日(土)～5月12日(日)まで 毎日受付

ぼたん献花祭

4月20日(土)

場 所 本堂(観音堂)

開始時間 練供養(伊勢辻)・・・出発12時30分

本堂法要・・・13時30分

お茶会

4月27日(土)

場 所 境内昭和寮

時間 9時～

参加料/先着500名様無料接待(但し、入山料は別途)

布教師による特別法話

4月27日(土)～5月6日(月・休)

場 所 歓喜院など

時間 9時～15時30分

参加料/無料(但し、入山料は別途)

主催 総本山長谷寺・初瀬観光協会
後援 桜井市観光協会・桜井市商工会・初瀬旅館組合
協力 近畿日本鉄道株式会社

西国三十三所第八番札所 真言宗豊山派

総本山 長谷寺

入山料

大人・中高生500円 小学生250円

入山時間

7時～17時[4月20日(土)～5月12日(日)]

□通常の入山時間/3月31日まで:9時～17時

4月から:8時30分～17時

ぼたんの開花状況は気候等により変化することがあります。
お出かけの際は、各駅に掲出の「花だより」ポスター、
インターネット等で必ずご確認ください。

長谷寺境内ではカメラの三脚類は一切持込禁止となっております。

お問合せ

総本山長谷寺

TEL(0744)47-7001

〒633-0112 奈良県桜井市初瀬731-1

長谷寺・門前町の情報はインターネットでも
お問合せいただけます。

奈良 長谷寺	検索
初瀬旅館組合	検索
初瀬観光協会	検索

近鉄大阪線 長谷寺駅下車 徒歩約15分

〈お出かけは公共交通機関をご利用ください〉

ぼたんまつり開催期間中は臨時バスが運行されます(途中無停車)

運行日:2019年4月27日(土)～5月6日(月・休)の期間毎日

【長谷寺駅⇄長谷寺門前】

〈運行時刻〉

長谷寺駅発/9時～14時:毎時30分発(12時を除く)

長谷寺門前発/10時～15時:毎時0分発(13時を除く)

〈所要時間〉約20分 (運賃)大人440円・小児220円

【長谷寺門前⇄室生寺】

〈運行時刻〉

長谷寺門前発/10時～15時:毎時0分・30分発

室生寺発/10時～15時:毎時0分・30分発

〈所要時間〉約45分 (運賃)大人830円・小児420円

〈詳しくは「奈良交通お客様サービスセンター」まで
TEL.0742-20-3100 (8時30分～19時 年中無休)

